

医療政策学分野

A 欧文

A-a

1. Migita K, Ilyassova B, Kovzel EF, Nersesov A, Abiru S, Maeda Y, Komori A, Ito M, Yano K, Yatsushashi H, Shimoda S, Ishibashi H, Nakamura M: Serum BAFF and APRIL levels in patients with PBC. *Clin Immunol* 134(2): 217-225, 2010. 2. (IF: 3.863)
2. Migita K, Koga T, Torigoshi T, Motokawa S, Maeda Y, Jiuchi Y, Izumi Y, Miyashita T, Nakamura M, Komori A, Ishibashi H: Induction of interleukin-23 p19 by serum amyloid A (SAA) in rheumatoid synoviocytes. *Clin Exp Immunol* 162(2): 244-50, 2010. 11. (IF: 3.009)
3. Nakamura M, Yasunami M, Kondo H, Horie H, Aiba Y, Komori A, Migita K, Yatsushashi H, Ito M, Shimoda S, Ishibashi H and PBC Study Group in NHOSLJ: Analysis of HLA-DRB1 polymorphisms in Japanese patients with primary biliary cirrhosis (PBC): the HLA-DRB1 polymorphism determines the relative risk of antinuclear antibodies for disease progression in PBC. *Hepatology* 40(5): 494-504, 2010. 5. (IF: 1.54)
4. Yano K, Tamada Y, Yatsushashi H, Komori A, Abiru S, Ito K, Masaki N, Mizokami M, Ishibashi H; Japan National Hospital Acute Hepatitis Study Group: Dynamic epidemiology of acute viral hepatitis in Japan. *Intervirology* 53(1): 70-5, 2010. 1. 5. (IF: 1.106)
5. Joshita S, Umemura T, Yoshizawa K, Katsuyama Y, Tanaka E, Nakamura M, Ishibashi H, Ota M; Shinshu PBC Study Group: Association analysis of cytotoxic T-lymphocyte antigen 4 gene polymorphisms with primary biliary cirrhosis in Japanese patients. *J Hepatol* 53(3): 537-41, 2010. 9. (IF: 7.818)
6. Nonaka K, Fujioka H, Takii Y, Abiru S, Migita K, Ito M, Kanematsu T, Ishibashi H: mPGES-1 expression in non-cancerous liver tissue impacts on postoperative recurrence of HCC. *World J Gastroenterol* 16(38): 4846-53, 2010. 10. 14. (IF: 2.092)

A-b

1. B. K. Bae, H. Yatsushashi, K. Yano, M. Fukuda, R. Nakao, R. Hamada, S. Hashimoto, A. Nishikawa, Y. Motoyoshi, S. Nagaoka, K. Yanagi, S. Abiru, A. Komori, H. Ishibashi, M. Ito: Identification of Predicting Factors for Seroconversion of Hepatitis B E Antigen within A Year Among Biochemical, Pathological and Virological Markers. *J Hepatol* 52 (1, Suppl): S275, 2010. 4. (IF: 7.818)
2. Komori A, Aiba Y, Nakamura M, Fujiwara S, Migita K, Fujioka H, Yatsushashi H, Ishibashi H: Signal Transducer and Activator of Transcription 3 and 5: Distinct Regulators in Growth and Differentiation of Human Cholangiocyte in Vitro. *J Hepatol* 52 (1, Suppl): S368, 2010. 4. (IF: 7.818)
3. Mika Fukuda, Hiroshi Yatsushashi, Ikuko Takahara, Tomoya Murata, Satoru Hashimoto, Akiko Nishikawa, Sung Kwan Bae, Yasuhide Motoyoshi, Shinya Nagaoka, Kenji Yanagi, Seigo Abiru, Atsumasa Komori, Kiyoshi Migita, Hikaru Fujioka, Hiromi Ishibashi: Association of serum interferon-gamma-inducible protein 10 (IP-10) levels with virological response to pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin therapy for HCV genotype 1 infection. *J Hepatol* 52 (1, Suppl): S108, 2010. 4. (IF: 7.818)

B 邦文

B-a

1. 山下信行, 上平幸史, 下田慎治, 野村秀幸, 石橋大海: 基幹病院の一般病棟で発生したC型肝炎院内感染. *肝臓* 51(6): 277-284, 2010

B-b

1. 石橋大海, 小森敦正, 中村 稔, 下田慎治: 原発性胆汁性肝硬変のガイドラインの作成. <特集> 肝疾患診療における彼我の違い: 黒船は来るのか? - Global standard vs. Japanese - . *肝胆膵* 60(2): 257-264, 2010
2. 石橋大海: <神経疾患治療ノート> 肝疾患に伴う神経障害. *Clinical Neuroscience* 28 (11): 1318-1319, 2010. 11.
3. 佐々木真由美, 中村みさ, 阿比留正剛, 石橋大海: ウイルス肝炎の感染防止対策, シリーズ『各微生物の感染対策』. *丸石感染対策ニュース* 5: 5-11, 2010
4. 三原裕美, 伊東正博, 阿比留正剛, 石橋大海: 原因不明の黄疸・肝酵素異常に対する内科的アプローチ. *病理と臨床* 28(12): 53-58, 2010

B-c

1. 石橋大海：原発性胆汁性肝硬変．In 今日の治療指針2010, 医学書院, pp447-448, 2010. 1.
2. 石橋大海, 上平幸士：原発性胆汁性肝硬変．臨床病態学, 北村聖創編集, 井廻道夫編集, ヌーヴェルひろかわ, 東京, 120-122頁, B5版 (622頁), 2010
3. 石橋大海：原発性胆汁性肝硬変．今日の消化器疾患治療指針, 幕内雅敏, 菅野健太郎, 工藤正俊編集, 第3版. 医学書院, 東京, pp614-617, 変形A4(1050頁), 2010
4. 石橋大海, 大平弘正：自己免疫性肝胆膵疾患．消化器と免疫, マイライフ社, 46: 99-100, 2010
5. 相葉佳洋, 小森敦正, 右田清志, 八橋 弘, 塚元和弘, 石橋大海, 中村 稔：原発性胆汁性肝硬変患者 (PBC) の CTLA-4一塩基多型 (SNP) の解析．消化器と免疫, マイライフ社, 46: 105-107, 2010
6. 中村 稔, 安波道郎, 近藤久義, 相葉佳洋, 小森敦正, 長岡進矢, 阿比留正剛, 八橋 弘, 右田清志, 石橋大海：HLA-DRB1遺伝子多型が降格抗体による原発性胆汁性肝硬変の予後予測に及ぼす影響の検討．消化器と免疫, マイライフ社 46: 108-112, 2010
7. 石橋大海, 柳 謙二：肝疾患治療薬, 胆道疾患治療薬, 膵臓疾患治療薬．『50音順・商品名で引く 治療薬事典』, 黒川 清, 山内豊明監修, 西崎 統, 岡元和文, 伊東明彦編集, 総合医学社, 東京, B6版(1443頁), 2010
8. 石橋大海：うっ血肝, 肝臓の血液循環とうっ血肝, アミロイド肝, アミロイドーシス. 家庭医学全科, 高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次矢総合監修, 法研, 東京, 1911-1914, 変B5版 (3143頁), 2010
9. 石橋大海：原発性胆汁性肝硬変(PBC)の診療ガイド．文光堂, 厚生労働省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班編, 東京, 4-16頁, 36-53頁, B6版 (56頁), 2010
10. 八橋 弘, 石橋大海：IFN延長投与の基準, Peg-IFN/RBV併用療法の延長投与ではRBV総投与量/体重比3.0以上を目指す．第27回 犬山シンポジウム記録集 C型肝炎, 犬山シンポジウム記録刊行会編集, 株式会社メディカルトリビューン, 東京, pp. 59-65, 2010

B-d

1. 石橋大海, 中村 稔：原発性胆汁性肝硬変の長期予後予測のためのバイオマーカーの同定．厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業), 平成21年度分担研究報告書, 2010
2. 石橋大海, 小森敦正：診療ガイドラインの作成．厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) PBC 調査研究分科会, ワーキンググループによる調査研究, 平成21年度報告書, 2010
3. 石橋大海, 橋元 悟：C型慢性肝炎に対するPeg-IFNα2a+Ribavirin併用療法の治療成績, 厚生労働科学研究費補助金 (肝炎等克服緊急対策研究事業)「データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究」, 平成21年度分担研究報告書, 2010
4. 右田清志, 中村好一, 上原里程, 上松一永, 増本純也, 鈴木彩子, 矢崎正英, 古川 宏, 石橋大海, 安波道郎, 井田弘明：本邦における家族性地中海熱の実態調査．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業, 平成21年度総括・分担研究報告, pp1-12, 2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	1	7	0	4	18

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
石橋大海・教授	専門委員 (長崎地方裁判所所属)	法務省 最高裁判所
石橋大海・教授	疾病・障害認定審査会臨時委員(原子爆弾被爆者医療分科会員)	厚生労働大臣
石橋大海・教授	科学研究費委員会専門委員	日本学術振興会
石橋大海・教授	難病情報センター情報企画委員	財団法人難病医学研究財団

石橋大海・教授	拡大医療安全管理委員会委員	国立病院機構九州ブロック
石橋大海・教授	副会長	国立病院機構臨床研究センター長・部長協議会
石橋大海・教授	客員教授	中国吉林省北華大學
石橋大海・教授	評議員	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	認定医制度審議会資格認定試験委員長	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	認定医制度審議会専門委員	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	認定医制度審議会救急委員会委員	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	認定医制度審議会カリキュラム委員	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	総合内科専門医の在り方ワーキンググループ委員	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	指導医	社団法人 日本内科学会
石橋大海・教授	財団評議員	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	学会評議員	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	九州支部長	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	卒後教育委員会	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	専門医制度審議委員会委員	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	施設（長崎医療センター）責任者	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	指導医	財団法人 日本消化器病学会
石橋大海・教授	査読委員	第 96 回日本消化器病学会総会
石橋大海・教授	企画委員	第 2 回国際フォーラム
石橋大海・教授	査読委員	JDDW 第 52 回日本消化器病学会大会
石橋大海・教授	評議員	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	評議員選考委員会委員	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	倫理委員会委員	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	指導医	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	西部会評議員	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	施設（長崎医療センター）責任者	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」福岡地区責任	社団法人 日本肝臓学会
石橋大海・教授	査読委員	第 46 回日本肝臓学会総会
石橋大海・教授	査読委員	第 14 回日本肝臓学会大会査読委員
石橋大海・教授	九州支部会評議員	社団法人 日本消化器内視鏡学会
石橋大海・教授	指導医	社団法人 日本消化器内視鏡学会
石橋大海・教授	九州地方会運営委員	社団法人 日本超音波医学会
石橋大海・教授	指導医	社団法人 日本超音波医学会
石橋大海・教授	指導医	社団法人 日本感染症学会
石橋大海・教授	幹事	日本肝癌研究会
石橋大海・教授	世話人	日本肝移植研究会
石橋大海・教授	Master (MACP)	米国内科学会(ACP)
石橋大海・教授	Fellow (FACG)	米国消化器病学会(ACG)
石橋大海・教授	組織委員	APASL 第 7 回シングルトピックカンファレンス(幕張)

石橋大海・教授	Scientific committee	U.S.-Japan Association for Autoimmune Liver Diseases
石橋大海・教授	Scientific committee	The Pan-Pacific Association for the Study of Immune Liver Diseases (PPASILD)
石橋大海・教授	Editorial Board	World Journal of Gastroenterology
石橋大海・教授	Editorial Board	Journal of Gastroenterology
石橋大海・教授	Editorial Board	Journal of Autoimmunity
石橋大海・教授	Editorial Board	Journal of Clinical Gastroenterology
石橋大海・教授	Associate Editor	Eurasian Journal of Biomedicine

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
石橋大海・教授	厚生労働省	分担	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究
石橋大海・教授	厚生労働省	分担	データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究
石橋大海・教授	厚生労働省	分担	本邦における家族性地中海熱の実態調査に関する研究
石橋大海・教授	厚生労働省	研究協力者	「進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験 (Phase III) ならびに効果を予測する biomarker の探索研究」
石橋大海・教授	厚生労働省	研究協力者	「切除不能肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法とソラフェニブの併用療法 ランダム化比較第 II 相臨床試験 (TACTICS)」
石橋大海・教授	国立病院機構	分担	国立病院機構における臨床研究基盤の整備状況と今後の課題に関する調査研究

その他

非常勤講師

氏名・職	職名等	関係機関名
石橋大海・教授	非常勤講師	活水女子大学看護学部

特筆すべき事項

米国内科学会(ACP)日本支部より Laureate Award 受賞